

災害・防災関係資料

災害・防災に関する教育・研究・調べものに役立つ資料です。
全文横断検索機能で有効かつ効果的な調べものができます



電子書籍閲覧サービスのメリット

人気検索ワードの自動表示、特集コーナー設置、試し読み、全文検索など豊富な機能を標準装備。スマートフォンからも快適なレスポンスでご覧いただけます。

▲所蔵タイトルはそのままブラウザで閲覧。未所蔵タイトルは試し読みやリクエストが可能。

▲すべてのタイトルの全文検索が可能。

未購入タイトルも含めて全点全文検索&試し読み機能を標準装備しています。

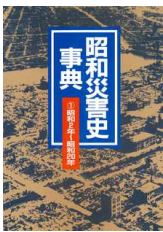
電子書籍閲覧サービス利用方

職場・ご家庭など、県立図書館の外で利用するには、「Myライブラリサービス」の利用登録が必要になります。

「Myライブラリサービス」の登録・利用方法については、「Myライブラリサービスの登録」というチラシをご覧ください。

ご自分のID・PWで「Myライブラリサービス」に入られると、「電子書籍閲覧サービス」のアイコンがありますので、クリックしますと、トップ画面に入ることができます。





昭和災害史事典 1～5、総索引

日外アソシエーツ編集部【編】 日外アソシエーツ

昭和62年間に発生した災害の概要を年表形式でまとめたもの。各項目末に災害の規模を示すデータを明記。巻末に災害の種類別一覧、都道府県別一覧がある。一昭和期62年間にわたる災害記録の決定版。



平成災害史事典 5冊

日外アソシエーツ編集部【編】 日外アソシエーツ(1999/5)

平成元年(1989)から平成30年(2018)までに発生した災害を年表形式で収録した事典。台風、豪雨、豪雪、地震、噴火、地滑り、雪崩などの自然災害(天災)、および火災、工場・鉱山災害、各種交通機関の事故、公害・被曝、伝染病、食中毒、薬害・医療事故、山岳遭難、戦争災害などの社会的災害(人災)を収録の対象とした。災害別一覧、都道府県別一覧付き。



災害・防災の本全情報 45/95

日外アソシエーツ【編】 日外アソシエーツ(1995/11)

1945～95年6月に刊行された災害・防災に関する図書1万6000点を集めた図書目録。「災害・防災全般」「自然災害」「人為的災害」の3部に分けて主題別に排列する。一災害・防災に関する戦後50年の本を集大成。



災害・防災の本全情報 1995-2004

日外アソシエーツ【編】 日外アソシエーツ(2005/4)

阪神淡路大震災より10年、災害の恐ろしさを知り、備えるための図書16210点を収録。1995年から2004年12月までに国内で刊行された災害・防災に関する図書を集成。地震、台風などの自然災害から、工場火災、鉄道事故などの人為的災害までを対象とし事故原因報告書からルポルタージュ、政府・自治体の防災計画書まで幅広く収録。



地震の事典 (第2版) (普及版)

朝倉書店(2010/3)

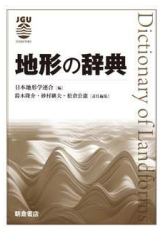
東京大学地震研究所を中心として、地震に関するあらゆる知識を系統的に記述。神戸以降の最新のデータを含めた全面改訂。付録として16世紀以降の世界の主な地震と5世紀以降の日本の被害地震についてマグニチュード、震源、被害等も列記。〔内容〕地震の概観/地震観測と観測資料の処理/地震波と地球内部構造/変動する地球と地震分布/地震活動の性質/地震の発生機構/地震に伴う自然現象/地震による地盤振動と地震災害/地震の予知/外国の地震リスト/日本の地震リスト



災害情報学事典

朝倉書店(2016/3)

災害情報学の基礎知識を見開き形式で解説。災害の備えや事後の対応・ケアに役立つ情報も網羅。行政・メディア・企業等の防災担当者必携〔内容〕〔第1部：災害時の情報〕地震・津波・噴火/気象災害〔第2部：メディア〕マスコミ/住民用メディア/行政用メディア〔第3部：行政〕行政対応の基本/緊急時対応/復旧・復興/被害軽減/事前教育〔第4部：災害心理〕避難の心理/コミュニケーションの心理/心身のケア〔第5部：大規模事故・緊急事態〕事故災害等/〔第6部：企業と防災〕



地形の辞典

日本地形学連合【編】 鈴木隆介 砂村継夫 松倉公憲【責任編集】 朝倉書店(2017/2)

地形学の最新知識とその関連用語、またマスコミ等で使用される地形関連用語の正確な定義を小項目辞典の形で総括する。地形学はもとより関連する科学技術分野の研究者、技術者、教員、学生のみならず、国土・都市計画、防災事業、自然環境維持対策、観光開発などに携わる人々、さらには登山家など一般読者も広く対象とする。収録項目8600。分野：地形学、地質学、年代学、地球科学一般、河川工学、土壌学、海洋・海岸工学、火山学、土木工学、自然環境・災害、惑星科学等



地震・噴火災害全史

日外選書fontana

日外アソシエーツ(2008/2)

本書は、西暦416年から2007年までに発生した地震・噴火災害、1847件の記録・解説である。



台風・気象災害全史

日外選書 fontana
日外アソシエーツ(2008/7)

台風や豪雨雪、竜巻などに代表される気象災害。古代から始まって、直近2007年までのデータ・2461件を収録。その内の55件を詳説。災害の、点と線を解明。現在と未来に活かすために。



産業災害全史

日外選書 fontana
日外アソシエーツ(2010/1)

爆発や火災、公害などに代表される産業災害の記録。明治から平成20年までに発生した産業災害2545件を収録。その内の30件については経緯や原因を詳しく解説。



鉄道・航空機事故全史

日外選書 fontana
災害情報センター 日外アソシエーツ 日外アソシエーツ(2007/5)

人間のミス、システムの欠陥、安全の無視、経営の錯誤など、様々な要因を解明し、そこから得た教訓を、“いま”に活かすために事故と事故を結ぶ、点と線をいま明らかにする。



大都市災害と防災福祉コミュニティ 東京圏、大阪圏、名古屋圏

川村匡由 大学教育出版(2018/9)

首都直下地震、南海トラフ巨大地震が起きたら？ 本書は東京、大阪、名古屋圏の防災・減災のため、防災福祉コミュニティ形成の必要性を提起した、「地域福祉源流の真実」、「地方災害」に続く三部作の完結編である



土砂災害と防災教育 命を守る判断・行動・備え

楢垣大助 緒續英章 井良沢道也 今村隆正 山田孝 丸谷知己【編】 朝倉書店(2016/2)

土砂災害による被害軽減のための防災教育の必要性が高まっている。行政の取り組み、小・中学校での防災学習、地域住民によるハザードマップ作りや一般市民向けの防災講演、防災教材の開発事例等、土砂災害の専門家による様々な試みを紹介。



防災福祉コミュニティ形成のために 実践編

公助をベースとした自助・互助・共助 川村匡由 大学教育出版(2018/12)

浅間山大噴火の被災地の生存者による教訓をもとに、被災地の復興のためには、如何に公助をベースとした自助・互助・共助に取り組むかとした、防災福祉コミュニティの形成のための実践編である。



東日本大震災と特別支援教育 共生社会にむけた防災教育を

田中真理 川住隆一 菅井裕行 慶應義塾大学出版会(2016/3)

災害が「障害を襲う」ということ——障害児・者にとっては、より強く、より長く、そしてより深刻に襲いかかってくる。自閉症などの発達障害や、重度・重複障害の子どもたちと保護者の被災体験は、特別支援教育や防災対策に大きな課題を露呈している。障害特性の理解・啓発、地域連携型の学校づくりをどう展開していくか。東日本大震災の被災体験から、インクルーシブな防災教育を提言する。



社会教育における防災教育の展開

野元弘幸 【編著】 大学教育出版(2018/8)

東日本大震災の教訓を、今後の災害に活かすために取り組まれた研究プロジェクトの成果をまとめている。従来の研究課題の枠組みを超えて、社会教育における防災教育研究の使命と課題を追究した書である。

その他の災害・防災資料

東日本大震災と地域福祉：次代への継承を探る	中央法規出版	東日本大震災と憲法：この国への直言	早稲田大学出版部
メディアは大震災・原発事故をどう語ったか：報道・ネット・ドキュメンタリーを検証する	東京電機大学出版局	学生のパワーを被災地へ！：「早稲田型ボランティア」の舞台裏	早稲田大学出版部
関東大震災を歩く：現代に生きる災害の記憶	吉川弘文館	復興政策をめぐる《正》と《善》：震災復興の政治経済学を求めて	早稲田大学出版部
関東大震災・国有鉄道震災日誌	日本経済評論社	3. 11 津波で何が起きたか：被害調査と減災戦略	早稲田大学出版部
大地震：古記録に学ぶ 読みなおす日本史	吉川弘文館	地方自治体は重い負担に耐えられるか：「民」の力を結集する方法	早稲田大学出版部
戦争に揺された「震度7」：1944 東南海地震 1945 三河地震	吉川弘文館	拡大する放射能汚染と法規制：穴だらけの制度の現状	早稲田大学出版部
地震の社会史：安政大地震と民衆 読みなおす日本史	吉川弘文館	0泊3日の支援からの出発：早稲田大学ボランティアセンター・学生による復興支援	早稲田大学出版部
善光寺大地震を生き抜く：現代語訳「弘化四年・善光寺地震大変録」	日本経済評論社	災害時にこそ問われる学級経営力・岩手・三陸編	早稲田大学出版部
津波災害と近代日本	吉川弘文館	災害に強い電力ネットワーク：スマートグリッドの基礎知識	早稲田大学出版部
地域福祉源流の真実と防災福祉コミュニティ：浅間山「天明の大噴火」被災地復興の教訓	大学教育出版	東日本大震災とコンビニ：便利さ（コンビニエンス）を問い直す	早稲田大学出版部
3.11と心の災害：福島にみるストレス症候群	大月書店	地形の辞典	朝倉書店
東京湾岸の地震防災対策：臨海コンビナートは大丈夫か	早稲田大学出版部	自然地理学事典	朝倉書店
大災害時に物流を守る：燃料多様化による対応を	早稲田大学出版部	地殻ダイナミクスと地震発生、2	朝倉書店
原子力規制委員会の社会的評価：3つの基準と3つの要件	早稲田大学出版部	土砂災害と防災教育：命を守る判断・行動・備え	朝倉書店
フクシマから日本の未来を創る：復興のための新しい発想	早稲田大学出版部	天気と気象100：一生付き合う自然現象を本格解説	オーム社
復興まちづくり文化の風を：日中共同ワークショップの試み	早稲田大学出版部	震災工学：被害想定・リスクマネジメントからみた地震災害	コロナ社
ともに創る！まちの新しい未来：気仙沼復興塾の挑戦	早稲田大学出版部	防災工学	コロナ社
ガジュマルの支援のすすめ：一人ひとりのところに寄り添う	早稲田大学出版部	大震災に学ぶ社会科学：政治過程と政策、第1巻	東洋経済新報社
津波被災地の500日：大槌・石巻・釜石にみる暮らし復興への困難な歩み	早稲田大学出版部	大震災に学ぶ社会科学：震災後の自治体ガバナンス、第2巻	東洋経済新報社
ふくしま・震災後の生活保障：大学生たちの目を見た現状	早稲田大学出版部	大震災に学ぶ社会科学：福島原発事故と複合リスク・ガバナンス、第3巻	東洋経済新報社
震災後に読む文学	早稲田大学出版部	大震災に学ぶ社会科学：震災と経済、第4巻	東洋経済新報社
原発政策を考える3つの視点：震災復興の政治経済学を求めて ③	早稲田大学出版部	大震災に学ぶ社会科学：被害・費用の包括的把握、第5巻	東洋経済新報社
ジャーナリズムの〈いま〉を問う：早稲田ジャーナリズム大賞パネルディスカッションより	早稲田大学出版部	大震災に学ぶ社会科学：復旧・復興へ向かう地域と学校、第6巻	東洋経済新報社
風化と闘う記者たち：忘れない平成三陸大津波	早稲田大学出版部	大震災に学ぶ社会科学：大震災・原発危機下の国際関係、第7巻	東洋経済新報社
災害に強い社会をつくるために：科学者の役割・大学の使命	早稲田大学出版部	大震災に学ぶ社会科学：震災から見える情報メディアとネットワーク、第8巻	東洋経済新報社
復興に女性たちの声を：「3・11」とジェンダー	早稲田大学出版部	NBC災害に備える！震災後、安全に受け入れるための医療現場マニュアル	羊土社
あの日私たちは東北へ向かった：国際協力NGOと3・11	早稲田大学出版部	気候変動下の水・土砂災害適応策：社会実装に向けて	近代科学社
フクシマ原発の失敗：事故対応過程の検証とこれからの安全規制	早稲田大学出版部	地震動の物理学	近代科学社
東日本大震災と環境汚染：アースドクターの診断	早稲田大学出版部	シミュレーションで探る災害と人間	近代科学社
ともに生きた伝えた：地域紙『石巻かほく』の1年	早稲田大学出版部	災害ソーシャルワークの可能性：学生と教師が被災地でみつけたソーシャルワークの魅力	中央法規出版
新聞は大震災を正しく伝えたか：学生たちの紙面分析	早稲田大学出版部	災害時における介護のボランティア入門：介護福祉士の専門性をいかして	中央法規出版
被災地の子どもたちの心に寄り添う：臨床心理学からのアドバイス	早稲田大学出版部	関東大震災政府陸海軍関係史料：陸軍関係史料、2	日本経済評論社
三陸にジオパークを：未来のいのちを守るために	早稲田大学出版部	災害時の情報伝達と地方自治体	日本経済評論社
大規模災害に強い自治体間連携：現場からの報告と提言	早稲田大学出版部	地方災害と防災福祉コミュニティ：浅間山大噴火被災地復興・発展の教訓	大学教育出版
文化遺産の保全と復興の哲学：自然との創造的関係の再生	早稲田大学出版部	世界は日本の震災を如何に見たか	日本評論社
《当事者》としていかに危機に向き合うか：震災復興の政治経済学を求めて ②	早稲田大学出版部	震災日誌	日本評論社
早く的確な救援のために：初動体制ガイドラインの提案	早稲田大学出版部	大震災経済史	日本評論社
「日常」の回復：江戸儒学の「仁」の思想に学ぶ	早稲田大学出版部		